第 5 回大腸ステント手技研究会運営委員・世話人会　議事録

2014.5.17　13:00-14:00

福岡国際会議場　405 号室

１．開会及び挨拶　研究会代表世話人　斉田芳久

２．議事

（１）　庶務報告　事務局　榎本俊行

収入（繰り越し+賛助会費+寄付金+個人年会費+利息）　3,337,183 円

支出（データーベース、ホームページ関連、CRC 人件費、委員会・世話人会経費、交通費、事務費）　2,181,580 円

収支差額　1,155,603 円

上記適切に運用されたことを大腸ステント安全研究会監事である炭山嘉伸先生、北川雄光先生に承認いただいた。

庶務報告に関しては特に質問なし。

（２）第３回大腸ステント安全研究会について　守口敬任会病院　島田　守

19 演題　演題募集多かったので何人かの先生にはご遠慮いただいた。

（３）Niti-S の進行状況と登録について　東京大学 CRC　土田みゆき　研究事務局　吉田俊太郎

198 例の登録をいただいた。

（研究会終了時までに２例の登録があり終了となった。）

（４）WallFlex データ解析・論文の進行状況　研究事務局　吉田俊太郎　松澤岳晃

512 例の検討をしています。まだデータのそろわないところがありますので早急に行い、統計学的な処理を行う。今後の継続した研究のもとになるので慎重にデータ分析を。

狭窄部位のわからないものなどの取扱いをどうするか→事務局とデータ管理委員で今後検討予定。

（５）WallFlex 前向き観察研究データ入力状況について　東京大学 CRC　土田みゆき

WallFlex 昨年 10 月に締切りました。登録は 46 施設からありました。

登録は全 520 症例　BTS の長期予後では留置後半年症例の入力割合 31%　同 1 年 27%　同 1.5 年 24%。

引き続き入力をお願い申し上げます。

WallFlex　長期予後（生存・死亡の登録）　催促のメールが行きますのでよろしくお願いします。

（６）今後の発表・報告について

短期成績　山田 Dr より報告があった（本学会および第 3 回研究会）。

論文・発表に関して・・・前回の時点で登録数の多い順に担当

埼玉医大総合医療センター松澤先生：短期成績　英語論文
東京大学吉田先生：短期成績 10 月ウィーンで発表
名古屋第二赤十字病院山田先生：国内学会初回発表（今回）
都立駒込病院小泉先生：秋の JDDW で発表

呉医療センター・中国がんセンター桑井先生：BTS 長期予後英文論文
横浜南部病院斎藤先生：BTS 短期英文論文
東邦大学医療センター大橋病院　榎本先生：日中韓で発表
岸和田徳洲会富田先生：2015 腹部救急に主題があればそこで発表

英語の所属先をメールしてください（平田先生　池田先生　小西先生　金沢先生　小林先生　尾花先生　直田先生　高安先生）英文の共同演者予定。

地方会などの主題に応募することは可能です。また、今回の山田先生のスライド含め HP に一部公表します。それ以外も講演（特別講演やランチョン等）などに使用するのも可としますが、いずれも事務局に連絡をお願いします。

（７）今後の大腸ステント安全手技研究会のあり方について
日本消化器内視鏡学会の附置研究会登録は今年度で終了（第３回）
関連研究会として継続を予定
金銭的な問題に関しては事務局で考えます。
来年の秋頃に第４回研究会をやりたいが未定、秋の第 5 回運営委員・世話人会で討議する。
今年の秋の JDDW　10/25（土）に第６回の運営委員・世話人会を施行予定、昼を予定していますがまだ各自のタイムスケジュールが決まっていないので詳細な時間は後日決定する。ぜひご参加ください。

（８）ほかの研究について
WallFlex も Niti-S も登録終了。事務局としてはいままでの研究のデータ整理があり一旦前向き研究は終了、秋までにデータ整理、論文化を進める。
今後の研究のアイデアがあれば事務局までご連絡を。

以上